

カツ丼食べて皆大吉

下仁田 町内8食堂が企画



事前におみくじを試し、内容を確認する会員ら

下仁田町の食堂8店をつくる「下仁田かつ丼の会」(市川進代表)は22日、かつ丼を注文した客に大吉のおみくじをプレゼントするキャンペーン「かつ丼食べてハッピー大吉を始めた。「全員を前向きに」と、全てのくじが大吉に設定された目新しい仕掛けだ。メンバーは町内への誘客に期待する。

おみくじは、れすとらん

ヒロ、鍋屋、常盤館、きよしや、茶茶、日昇軒、安兵衛、食亭エイト(いずれも同町下仁田)の8店で計500枚用意し、なくなり次第終了する。くじには「助

言」のほかに、町の名物「下仁田カツ丼」の写真などを載せ、地元グルメもアピールする。

キャンペーンの考案者は作家の広川伸さん(67)。「東京都板橋区。引き当てた誰もが前向きになれる仕掛けとして、くじを大吉に統一したという。それでも「満足な大吉」「ラッキーな大吉」といったバリエーションが100通りあるため、くじを引くワクワク感があり、各店へのリピーター創出にもつながるとしている。

会員たちは事前にくじを引き、運勢を示す言葉や助言がそれぞれ異なることを確認。「若い世代や女性を呼び込める」「引いて嫌な気分にはならないよね」などと感想を話し合った。誘

客効果などを検証し、次年度以降の運用につなげる。市川代表(左)は「おみくじをきっかけに町外のお客さんが店に来てくれれば良い」と期待している。

(神辺尚美)